

令和5年度

在京飯田高校同窓会 定期総会〈報告〉

4年ぶり、すべてのプログラムを対面方式で実施
アルカディア市ヶ谷に208名参加

令和5年11月11日（土）13時から在京飯田高校同窓会定期総会をアルカディア市ヶ谷で開催し、中47回生から高49回生まで208名が参加しました。本総会は高38回生・高48回生が幹事学年となり、4年ぶりにすべてのプログラムを対面方式で実施しました。また今年是在京飯田高校創立70周年にあたり、記念イベントとして懇親会で盛大に鏡割りを行うなど、コロナ禍からのリスタートの総会となりました。

会場では幹事学年の企画で、信州のアンテナショップ「銀座NAGANO」に懐かしい郷土の味や信州のご当地商品を出張販売していただきました。売り切れる商品が続出し、後日銀座NAGANOから「銀座の信州」として、これからも懐かしさを求めてお越しいただきましたら幸いです」とのメッセージを頂戴します。

定期総会は、安藤ちづるさん（高38回）の司会で始

まり、校歌斉唱のあと、この1年にご逝去された同窓生への黙祷に続き、松原秀幸在京飯田高校同窓会会長（高19回）が「今年是在京飯田高校同窓会創設70周年とともに、『稻穂』創刊20周年にあたるが、会長就任以降会則の整備をはじめ、持続可能な新たな同窓会を目指して活動を行ってきた」と挨拶されました。また来賓として伊藤俊一飯田高校同窓会会長（高20回）、佐藤健飯田市長（高38回）からご挨拶を頂きました。両氏に加え来賓として高柳俊男法政大学教授、市岡登飯田高校同窓会事務局長（高22回）をお招きしました。

続いて総会議長として北原憲一さん（高38回）が選出され、議案の審議が行われました。第1号議案「令和4年度事業報告および会計報告」、第2号議案「令和5年度の事業計画および予算」、第3号議案「役員改選の件」については、いずれも賛成多数で可決されました。なお第2号議案「令和5年度の予算」について、「稲穂発行費」が124万円と前年度比の支払実績80万円から大幅に増加している理由について質問がありました。が、主に発送費用の高騰によるものと回答しています。ちなみに「稲穂発行費」の大半は印刷費と発送費用で、稲穂編集委員会のメンバーが無償で編集作業等に関わってくれています。また第3号議案「役員改選」

甦った対面方式による同窓会総会



会計報告をする榎原雅直さん（高31回）



事業報告をする代田秀雄さん（高33回）



総会議長の北原憲一さん（高38回）



司会の安藤ちづるさん（高38回）



幹事学年の引き継ぎをする清水勇治さん（高38回）

萩原豊TBS解説委員長（高38回）が講演



佐藤健飯田市長（高38回）は飯田から出席して講演



松原秀幸
在京同窓会会長
（高19回）挨拶



閉会の辞を述べる大原直副会長（高21回）



伊藤俊一
飯田高校本部同窓会
会長（高20回）、
来賓挨拶



笑顔あふれる懇親会会場

についても、同窓会としてのガバナンスのあり方についてのご意見を頂きました。本件については、次回総会で改めて説明する予定です。なお役員改選により次期会長に今村昭文さん（高24回）、次期副会長に池田正明さん（高28回）、榊原雅直さん（高31回）、代田秀雄（高33回）が選出されました。

講演会では、まず佐藤飯田市長が「飯田の今とこれから」と題し、リニア開業にむけてのまちづくりとして、いたずらに都市的なものを追いつめるのではなく、飯田の自然風土、文化、先人の皆さんが築いてきた「暮らしの豊かさ」をしっかりと守っていくという視点が大切であり、目指すべきは「上質なローカル」であると講演されました。

続いて萩原豊さん（高38回、TBSテレビ報道局報道番組センター長兼解説委員長）が「分断の現場から」というテーマで、世界の片隅にある不条理の事例として①南米アマゾンでの金の不法採掘による水俣病②コロンビアから死のジャングルを超えて陸路で米国を目指すダリエンルート③米国における二極化する世界—という3つが報告されるとともに、メディアの立場からの問題提起がありました。同氏の「南米アマゾンの『水俣病』」に関する報道は、石橋湛山記念早稲田ジャーナ

リズム大賞・草の根民主主義部門の奨励賞に選出されています。

盛り上がった70周年イベントと久しぶりの再会

続いての懇親会は鏡割りから始まりました。伊藤飯田高校同窓会会長、佐藤市長、松原在京飯田高校同窓会会長、今村新会長による喜久水樽酒の鏡割りは、同窓生の「よいしょ！」の掛け声とともに威勢よく行われました。今村新会長の挨拶の後、コロナ禍で中断していた喜寿の祝いの品の贈呈が行われました。対象となる学年は高14回生から高17回生で、この日は17名の方にご出席いただき、水引細工が手渡されました。

懇親会は久しぶりの再会を喜び合う多くの笑顔に満たされた楽しく懐かしい時間でした。卒業年次別の写真撮影、幹事学年代表の清水勇治さん（高38回）から来年度幹事学年（高39回・高49回）への引き継ぎ、市岡飯田高校同窓会事務局長の挨拶に続き、閉会の辞として大原直在京飯田高校同窓会副会長（高21回）が2年前に逝去された平田達さん（中47回）への感謝の気持ちを述べられ、お開きになりました。

（報告）在京飯田高校同窓会前事務局長 代田秀雄